

推進計画の成果と新たな課題

地区協議会の活動に関わる支援

- 10地区中9地区の地区協議会が設立されました。
- 地区の中核を担えるように引き続き支援を行います。

地区を担当する職員(地域おうえんコーディネーター)の役割

- 地区と市のつながりを強化するため、チーム制に移行しました。
- 今後は行政部署間の連携について重点的に取り組みます。

地域活動室の確保及び地域予算の活用

- 活動拠点の確保と、1地区100万円が上限となる補助を行いました。
- 引き続き地域活動室の確保と地域予算による支援を行います。

行政部署間の連携促進の取組み

- 地区連携調整会議や情報交換会を開催しました。
- これまでの動きをふまえ新しい連携の形をつくります。

新たな課題●地区協議会を構成する地域団体が、活動の継続や展開など課題を抱えており、ニーズに合わせた支援が求められています。

地域のいま

高齢化の進行と出生数の減少に伴う人口構成の変化

町内会・自治会への加入率の減少とNPO法人数の増加

伸び悩む地域・市民活動への参加と近所づきあいの意識

東京圏内で高い水準にあった小売業の売上額の減少

1 地域社会への意識の醸成

地域への関心の低さや愛着の薄れから担い手が不足しており、地域住民も市職員も「自分ゴト」として関わっていくことが重要です。

2 地域団体への支援の充実

地域で活動する人の高齢化が進んでおり、魅力を高める取組みを行うために、組織規模や活動状況にあわせた体制づくりが必要です。

3 地域内連携の推進

地域の未来を共有し、地域住民や地域団体の強みや特性を生かしたネットワークづくりに取り組むことが求められています。

地区協議会の活動紹介



地区協議会
地区の特性と資源を生かして地区の課題を解決するための組織



①南地区協議会
地区の団体同士の交流などを目的とした「地区内交流事業『南カフェ』」



②原町田地区協議会
ステージ発表などを行い、団体間や多世代の交流を深める「原町田ふれあいまつり」



③町田第二地区協議会
地区の小学校の登下校を見守る「子どもの見守り事業」



④玉川学園・南大谷地区協議会
避難生活体験会や参加外遊びの楽しさを伝える「子どもが元気に遊べる広場づくり事業」



⑤木曾地区協議会
避難生活体験会や参加体験できる新イベントを実施した「地域防災活動事業」



⑥忠生地区協議会
伝統芸能・郷土芸能を次の世代に継承していくための「忠生郷土芸能まつり」



⑦鶴川地区協議会
地域のことは地域で解決できるまちづくりを目指す「3水スマイルラウンジ」



⑧小山・小山ヶ丘地区ネットワーク協議会
多世代が一緒に楽しめる場を創出する「ふれあいを深める事業」



⑨相原地区協議会
世代間交流の促進と生きがいを目的とした「住民の生きがいづくり事業」

発行 2017年3月
町田市市民部市民協働推進課
〒194-8520 東京都町田市森野2-2-22
☎042-724-4362 (直通)

この冊子は1,000部制作し、1部あたりの単価は449円です



町田市 地域経営ビジョン2030

～協働による地域社会づくり推進計画～

概要版



2017年3月
町田市

策定の趣旨

経緯・目的

超高齢化社会・人口減少社会の到来や市民ニーズの多様化などの社会変化や時代背景から、国や東京都においても、地域コミュニティの育成や地域団体間の連携がうたわれています。

地域と市がビジョンを共有し、力を合わせて未来へと続く地域社会を創造することを目的に策定します。

位置付け

基本計画「まちだ未来づくりプラン」のリーディングプロジェクトの1つである「地域社会づくりを基本とするまちづくりプロジェクト」に基づき、2013年12月に策定した「『協働による地域社会づくり』推進計画」の後継となる計画です。

期間

2030年のビジョンの実現に向けて、2017年度から2021年度までの当面の5年間を、取り組みの期間とします。

策定の経過

策定するにあたり、市民や地域団体による「市民ワークショップ」や、高校生や大学生による「高校生ワークショップ」、市職員による「未来づくりワークショップ」を行いました。

地域の良いところ、抱えている課題や2030年のビジョンについて様々な意見や想いを共有しました。



市民ワークショップ



高校生ワークショップ



未来づくりワークショップ

3つの取り組み

地域団体への支援体制の創設

地域活動に関わるきっかけづくり、地域団体の運営に関わる支援、地域資源の活用促進、ネットワーク化の推進や活動に関する情報収集・発信など、地域団体への支援体制を創設します。

①

地区協議会の活動支援の充実

全地区設置に向けて引き続き働きかけを行うとともに、地区協議会が地区の中核を担えるように、地域おうえんコーディネーターを中心に活動の「魅せる化」を推進します。

③

行政部署間の連携の促進

地域と関わりがある市の各部署の事業や情報を収集・分析し、地域と市が力を合わせ、課題の解決につながるように、行政部署間の連携を促進し、ネットワークづくりを行います。

④

2030年のビジョン

魅力と個性を創造する地域

「面白そう」「一緒に活動したい」と思える魅力あふれるまちにするため、みんなで力を合わせて地域の個性を生かした取り組みを創造することで、多くの人たちの参加と気づきが生まれます。

未来と感動を共有する地域

「楽しい」「充実している」と感じる地域の未来をみんなで共有し、様々な地域の担い手が連携して取り組むことで生まれる一体感と感動を、地域に広げていくことで、地域のまとまりが生まれます。

愛着と誇りを継承する地域

「住み続けたい」「地域の良さを伝えていきたい」気持ちを育てるプロセスを経て、地域への愛着と誇りをもち、さらにこの想いを次の世代に伝えることで、未来へと続く地域社会が生まれます。

地域経営

地域と市が力を合わせ、地域資源を活用して未来へと続く地域をつくりあげていくこと

ビジョン実現に向けた考え方

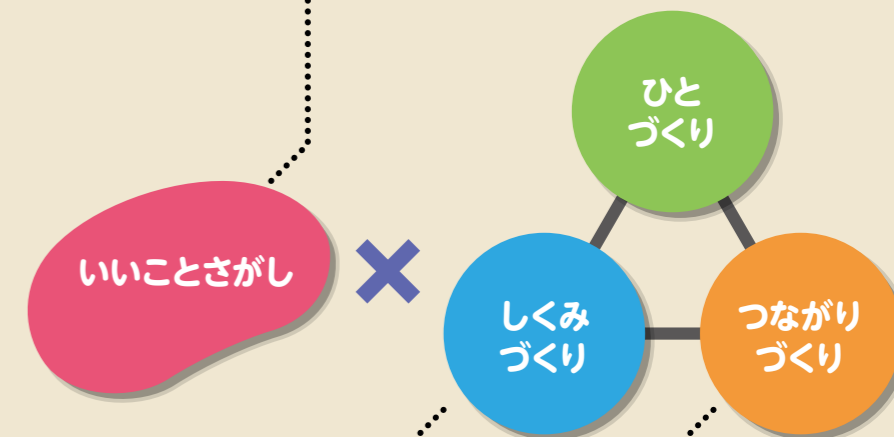
「いいことさがし」の視点と三つの方針「ひとづくり」「しくみづくり」「つながりづくり」を掲げ、2030年のビジョンを実現します。

いいことさがし

●ひと・もの・かね・場・情報など顕在・潜在している地域資源を創出・発見・活用・継承していく視点のことです。

ひとづくり

●地域活動へのきっかけの提供や、新しい発見や今後の事業展開の活力へとつながる支援を行います。
●地域と市が力を合わせて取り組めるように、協働意識の醸成を目指します。



しくみづくり

●地域団体の組織運営や活動の継続性を支援する環境づくりを進め、活動を活性化するしくみを整えます。
●地域が課題解決に向けた活動ができるように、持続的に取り組める体制づくりを強化します。

つながりづくり

●地域団体の強みを生かした地域社会づくりを行えるように、情報収集・発信機能を充実させ、ネットワーク化を促進します。
●地域団体と企業、大学、市などが協力・連携できるよう、交流を促進します。